

H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市福祉センター				
所在地	生駒市さつき台2丁目6番地1				
指定管理者名	社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	不適用		終了日	平成 38 年 3 月 31 日	
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 1 年目		
設置目的	生駒市社会福祉事業の推進、社会福祉活動の育成と市民のふれあいを図り、福祉の増進に資するため				
主な実施事業等	福祉センターの使用許可に関する業務 障がい者及び高齢者の講座・教室の実施に関する業務 意思疎通支援事業・社会参加支援事業・権利擁護支援事業				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
各種教室	人	5866	6267	106.83	
手話通訳者派遣	件	219	285	130.13	
要約筆記者派遣	件	42	39	92.85	
各種講座	人	561	1100	196.07	
権利擁護相談件数	人		1109		

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	66943000	66526315	54391797
指定管理料		64584000	64584000	53205466
利用料金収入	C			
自主事業収入		1260000	724950	0
その他		1099000	1217365	1186331
支出計	B	66943000	64395654	53215434
指定事業費		65683000	63670704	53215434
うち人件費	D	31523000	30497919	22985917
うち再委託料	E			
自主事業費		1260000	724950	0
事業収支	A-B	0	2130661	1176363
利用料金比率	C/A			
人件費比率	D/B	0.470893148	0.473602132	0.431940797
再委託費比率	E/B			
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート 意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	各種教室・講座ごとにアンケートを実施し、改善要望や新たに開講してほしい教室などの意見の聞き取りを行っている。		アンケートをもとに、各種教室の内容や、開催時期等の検討を行い、要望の多い教室については短期教室から通年の教室に変更している。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	生駒市や市内の障がい者団体・施設、センターボランティアと連携を取り、高齢者・障がい者を対象とした催し等の企画運営を行っている。また、自主事業の障害者週間事業では、各障がい者団体と協同で啓発活動を行っている。
市の評価	障がい者団体やボランティア、各事業所との連携を重視した運営に努めており、良好な関係を保つことができている。障害者週間事業でも、各種団体の協力の下、地域に根差した事業となっている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	生駒市福祉センター条例、同施行規則並びに市福祉センター使用細則に基づき公平で適切な利用に努めている。運営についてはセンター運営内規により適切な運営に努めている。
市の評価	生駒市福祉センター条例、同施行規則並びに市福祉センター使用細則に基づき適切な利用が図られており、施設使用に関する大きなトラブルは見受けられない。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	窓口やアンケート等で利用者の意見把握を行い、新規教室や催しの内容を検討する資料としている。苦情については当法人にて苦情申出窓口を設置し、第三者委員会を設置している。
市の評価	地域福祉の拠点として効果的な運営が図られるよう、アンケートのほかにもセンター職員が常に利用者の意見を聞き要望を把握するように努めている。財源の制約がある中で市民の要望をもとに新規の各種教室も弾力的に行っている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	センターバス運行管理や施設管理業務の委託を一般競争入札で長期契約とし経費節減に努めた。また、生駒市環境マネジメントシステムを導入し、職員のみならず施設利用者にも呼びかけ、節電節制に取り組んでいる。
市の評価	各種委託業務については一般競争入札を執行し長期継続契約を行い経費の節約につながっている。節電の取り組みについても利用者に対して細やかな声掛けを行うなど積極的に取り組んでいる。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
市の評価	
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	専任手話通訳者を配置し、聴覚障がい者の相談支援や社会参加支援事業を行っている。広報活動については、ホームページや広報誌等を利用して情報提供を行っている。
市の評価	専任手話通訳者の設置により、聴覚障がい者の生活の支援に貢献している。その他の各種事業についてもボランティア団体の協力を得るなど効果的・効率的に実施している。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	車いすや、車いす対応車両を一時的に必要なかたへ貸出しを行っている。また、障害者週間の啓発活動や小中学校向けの福祉出前講座（車いす・アイマスク・手話・点字の体験）を行い、市民に障がいへの理解を深めてもらうよう事業を展開している。
市の評価	自主事業の各種取組みは各種団体と協働し地域に根ざした活動となっており、市民に対する障がい者理解の促進に資する内容となっている。今後も本市の福祉施策の充実を図るため、新たな取組について提案されたい。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	消防訓練の実施、法人内での災害支援研修への参加など危機管理体制の強化に努めている。個人情報保護に関しては、生駒市の規範に準じ、当法人独自の方針を作成し職員に周知の上遵守している。
市の評価	消防訓練の実施や災害時の支援マニュアルの作成及び個人情報保護に関する方針を作成し、安全管理、危機管理体制等の構築が図られている。なお、各種機器・設備の保守点検などについて支障があれば速やかに報告されたい。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	経費削減に努めることで催し内容の充実や設備改修等、必要な部分への充当移行が可能となっており、今後も安定的かつ柔軟的に事業継続を行うことができる。
市の評価	経費削減によって手話通訳者設置事業の拡充や設備改修にも取り組まれており、今後も安定した事業継続ができると見込まれる。

6 指定管理者の財務の状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
資産	431,462,187	427,129,703	425,742,139
流動資産	56,428,044	47,391,179	65,068,508
固定資産	375,034,143	379,738,524	360,673,631
負債	82,086,527	90,479,876	97,951,150
流動負債	15,527,220	21,943,852	25,193,699
固定負債	66,559,307	68,536,024	72,757,451
純資産	349,375,660	336,649,827	327,790,989
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	245,934,163	249,264,727	277,285,761
経常利益	6,303,055	3,757,966	1,994,869

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自己資本比率 純資産/資産×100	81.0%	78.8%	77.0%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	23.5%	26.9%	29.9%
固定比率 固定資産/純資産×100	107.3%	112.8%	110.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	363.4%	216.0%	258.3%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	90.2%	93.7%	90.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	57.0%	58.4%	65.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.5%	0.9%	0.5%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
今後も職員の専門性の向上を図り、障がい者団体・ボランティアと協働でニーズに沿った事業展開を行い、地域福祉の発展に力を入れた運営に努めていきたい。
市の評価
アンケート調査のみならず聞き取り等でも利用者ニーズの把握に努めるとともに、障がい者団体やボランティア、各事業所等との良好な関係の下、協働し運営しておられることについて評価している。今後も継続して、施設・設備の適切な維持管理万全に努め事故のないよう安全・安心な運営を実施していただきたい。また、手話通訳者の設置事業の拡充や声のあゆみ・点字のあゆみの配布のほか、改修工事に際しても利用者の安全に務めていただいた。